

2018年10月10日

各位

会社名 コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 吉松民雄
 (コード番号 2579 東証第一部、福証)
 問合せ先 財務本部 コントローラーズ シニアグループ統括部長 鵜池正清
 (Tel. (03)6896-1707)

平成30年7月豪雨被害に伴う通期業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成30年7月豪雨の被害等により、2018年8月10日の2018年12月期第2四半期決算発表時に未定として公表しておりました、2018年12月期(2018年1月1日～2018年12月31日)の通期業績予想について、下記のとおり修正するとともに、平成30年7月豪雨の被害による特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2018年12月期通期連結業績予想数値の修正(2018年1月1日～2018年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	965,300	27,000	25,200	9,000	46円77銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)2018年2月13日発表予想(C)	1,007,300	49,700	47,900	28,800	149円66銭
増減額(B-C)	△42,000	△22,700	△22,700	△19,800	
増減率(%)	△4.2	△45.7	△47.4	△68.8	
(ご参考)前期連結実績(2017年12月期)	872,623	40,579	39,859	25,244	144円26銭

(2) 修正の理由

当社は、平成30年7月豪雨による直接的、間接的な業績への影響を合理的に算定することが困難であるため、通期業績予想を未定としておりました。

このたび、平成30年7月豪雨による影響や上期のビジネストレンドが継続していること等を踏まえ、通期業績予想を修正いたしました。これは、被災した広島県三原市の本郷工場の製造能力喪失、製品供給体制見直しにより輸送コストが増加したこと、アセプティック(無菌充填)製品の急成長による供給制約が発生したことや、被災した設備や棚卸資産の廃棄損等を特別損失として計上予定であることが主な要因です。前回発表予想が未定であったため、当初発表計画との差異も上記に掲載しております。詳細につきましては「補足説明資料」をご覧ください。

なお、1株当たり年間配当予想については変更ありません(中間25円、期末予想25円、年間50円)。

2. 特別損失の計上について

平成 30 年 7 月豪雨により、広島県三原市の本郷工場と、隣接の物流拠点が浸水被害を受け操業を停止したほか、他の一部製造・営業拠点ならびに販売機器、車両等においても浸水による被害を受け、設備や棚卸資産の廃棄損等が発生いたしました。これらを 2018 年 12 月期の連結決算において、「災害による損失」として、84 億円を特別損失に計上する予定であります。

(参考)

1) 補足説明資料およびウェブキャスト

本件に関する補足説明資料を当社ホームページに掲載し、また、本日 18:00 からウェブキャストにより説明会の音声配信を行います。いずれも当社ホームページから利用可能です。

2) 第 3 四半期決算発表予定

当社第 3 四半期決算発表は 2018 年 11 月 9 日 (金) 夕刻、決算説明会は 11 月 12 日 (月) 13:30 からを予定しております。説明会資料と決算説明会ウェブキャストは当社ホームページより提供いたします。

当社 IR ホームページ <https://www.ccbj-holdings.com/ir/>

以 上